げんまい新聞

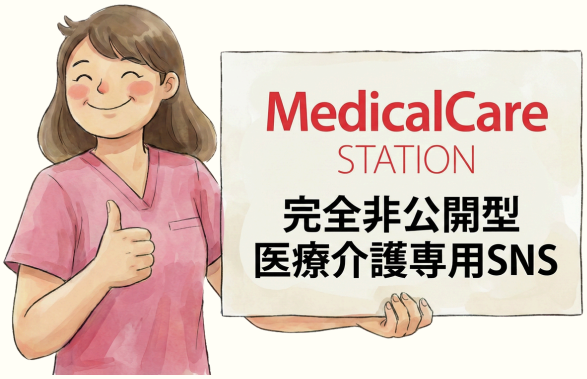
第47号　日々の在宅医療介護に役立つ知恵と情報をお届けします

製作者
玄米
クリニック
西原町翁長834
トムズビル2階
☎098-944-6663

「スマホで連絡」らくらくスタートブック
～MCS（エムシーエス）は、医療版のLINEなんですよ～

みなさん、こんにちは！玄米クリニックの「安心・笑顔」担当の玄米花子です。『もっと患者さんの近くで支えになりたい』という熱い想いから生まれた、クリニックの看板娘です。**今回は連携する事業所さん向けの内容です。**

『え～、また新しい機械？ 難しそう…』って思っていませんか？大丈夫！ これは『医療用のLINE（ライン）』みたいなものです。文字を打つのが大変なら、写真を撮って送るだけでもOK！電話がつながらなくてイライラする時間を減らして、一緒にお茶を飲む時間を増やしましょう。
私が手取り足取り教えるから、まずは一緒にやってみて！」



【ステップ１】　アプリをスマホに入れましょう

まずは、MCSのアプリをスマホに入れます。

1. お買い物カゴのマークを押します
- iPhone（アイフォン）の方： 青い「A」のマーク（App Store）
- それ以外のスマホの方： カラフルな三角のマーク（Play Store）

2. 「むしめがね」のマークを押して、「MCS」と入れます
- 「えむ、しー、えす」と入力してください。
- 「メディカルケアステーション」という長い名前が出てきたら、それです！

3. 「入手」や「インストール」を押します
- これで、あなたのスマホの中に「連絡帳」が入りました！

【ステップ２】　招待メールを開きましょう

玄米クリニックから、あなたの事業所のメールアドレス（またはスマホ）に、「ご招待」のメールを送っています。

1. メールの中に、青色の文字（リンク）があります。そこを「ポンッ」と押してください。
2. 画面が変わって、「パスワードを決めてください」と言われます。

【ステップ３】　ここが一番大事！パスワード

「ここで決めたパスワードは、家の鍵と同じくらい大事！
忘れないように、今すぐこの紙に書いておきましょう！」

- あなたのメールアドレス：（記入欄を作る _____ ）
- あなたのパスワード：（記入欄を作る _____ ）

※8文字以上で、英語と数字を混ぜてくださいね。（例：hanako1234）
入力できたら、「登録（とうろく）」ボタンを押して完了です！

【ステップ４】　さあ、メッセージを見てみましょう

スマホに入れた「MCS」のアプリを開いてみましょう。

1. 患者さんの部屋（タイムライン）を選びます

- LINEの「トーク」と同じです。患者さんの名前が並んでいるので、連絡したい人の名前を押します。

2. メッセージを送ってみましょう

- 下の四角い枠の中に、伝えたいことを入れます。
- 例：「今日、訪問しました。お熱なしです。」
- 最後に、**紙飛行機のマーク（送信）**を押せば、相手に届きます！

【応用編】　写真を送ると、もっと便利！

「文字を打つのが面倒くさい…」
そんな時は、写真が一番伝わります！

1. メッセージ入力欄の横にある、カメラのマークを押します。
2. 「写真を撮る」を選んで、患者さんの患部（傷など）や、気になった書類をパシャリ。
3. そのまま送信すれば、先生が見てくれます。

（花子さんのコメント）
「『足が赤く腫れていて…』って電話で説明するより、写真1枚の方が100倍伝わるのよ！ 先生もパッと見て判断できるから、返事も早くなるわ！」

【困ったときは…】

「画面が動かなくなった！」
「変な文字が出ちゃった！」
そんな時は、無理せず玄米クリニックに電話してください。
「MCS（エムシーエス）のことで…」と言ってくだされば、スタッフがすぐに助け舟を出します！
玄米クリニック 連携室（担当：山城牧子）
電話番号：098-944-6663